

近鉄・JR 御所駅周辺地区交通戦略

令和7年3月
御所市

目次

1 地区交通戦略の策定について	1
1-1 計画策定の目的と背景.....	1
1-2 地区交通戦略の概要.....	1
1-3 計画の対象区域.....	2
1-4 計画の位置づけ.....	3
1-5 計画の期間.....	4
1-6 計画の構成（地区交通戦略で定める内容）.....	5
2 地区における現状及び課題	6
2-1 御所市の特性.....	6
(1) 概況.....	6
2-2 人口・世帯数・高齢化率.....	7
(1) 人口の推移（将来含む）.....	7
(2) 世帯数・世帯人員の推移.....	9
(3) 年齢別人口.....	10
(4) 地域別高齢化率.....	12
(5) 人口動態.....	14
(6) 通勤・通学流動.....	15
(7) DID.....	17
2-3 施設分布状況.....	19
(1) 医療施設.....	19
(2) 教育施設.....	20
(3) 商業施設.....	21
(4) 文化施設.....	22
(5) 社会福祉施設.....	23
(6) 行政施設.....	24
2-4 公共交通.....	25
(1) 鉄道.....	25
(2) バス.....	31
(3) タクシー.....	34
(4) 公共交通カバー率.....	37
2-5 道路等.....	38
(1) 広域道路ネットワーク.....	38
(2) 都市計画道路.....	39
(3) 道路交通状況.....	41
(4) 自動車保有台数.....	43
(5) 歩道整備状況.....	44
(6) サイクリングコース.....	45
(7) 市営駐車場・駐輪場.....	46
(8) 緊急輸送道路・指定緊急避難場所.....	47
2-6 交通行動.....	49
(1) 移動手段.....	49
(2) 移動目的.....	49

(3) 目的別手段.....	50
2-7 上位関連計画.....	52
(1) 御所市第6次総合計画.....	52
(2) 御所市都市計画マスタープラン.....	53
(3) 御所市立地適正化計画.....	54
(4) 御所市第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略.....	55
(5) 御所中心市街地地区まちづくり基本構想.....	56
(6) 御所市過疎地域持続的発展計画.....	57
(7) 御所市公共施設等総合管理計画.....	58
(8) 御所市公共交通運行効率化計画.....	59
(9) 御所市地域公共交通計画.....	60
2-8 課題の整理.....	61
(1) 現況の課題まとめ.....	61
2-9 問題点の整理.....	62
(1) まちづくりに向けた交通課題.....	62
(2) 移動手手段の確保に向けた交通課題.....	62
(3) 企業立地の促進に向けた交通課題.....	62
(4) 「安全・安心」の確保に向けた交通課題.....	62
3 地区が目指す将来像.....	63
3-1 交通とまちづくりの将来像.....	63
4 地区交通戦略の区域.....	65
4-1 地区交通戦略の区域.....	65
5 目標達成に必要な施策・事業.....	66
5-1 将来像実現のための戦略目標.....	66
5-2 評価指標.....	67
(1) 戦略目標Ⅰの評価指標.....	67
(2) 戦略目標Ⅱの評価指標.....	68
(3) 戦略目標Ⅲの評価指標.....	69
6 関係者の役割分担を踏まえた実施プログラム.....	70
6-1 【戦略目標Ⅰ】にぎわいを創出する都市空間コアの形成（ゲートウェイ施策・事業）..	71
(1) 近鉄・JR御所駅の交通拠点としての機能強化.....	71
6-2 【戦略目標Ⅱ】地区内交通ネットワークの再構築（アクセス施策・事業）.....	73
(1) 中心市街地周辺の道路ネットワーク強化.....	73
6-3 【戦略目標Ⅲ】「安全・安心・楽しい」移動ができるみち空間の確保（ウォークアブル 施策・事業）.....	74
(1) 移動しやすい歩行車・自転車利用環境の整備.....	74
7 推進体制.....	76
7-1 事業推進体制.....	76
8 その他必要な事項.....	77
8-1 駅前整備計画.....	77

1 地区交通戦略の策定について

1-1 計画策定の目的と背景

御所市（以下「本市」といいます。）では、市全体の交通課題の解決を図るとともに、将来のまちづくり計画を実現していくため、都市交通施策をまとめた御所市総合交通戦略を令和5年3月に策定しました。

御所市総合交通戦略では、御所市全域の交通ネットワークを対象に、市域全域の交通課題の抽出、構想・方針の策定・実施プログラムの策定を行いました。

近鉄・JR御所駅周辺地区交通戦略（以下、「地区交通戦略」といいます。）は、市の交通拠点である近鉄・JR御所駅周辺地区（以下、「駅周辺地区」といいます。）について、御所市総合交通戦略で定めた内容をベースに、より詳細に検討・計画策定を行うものです。

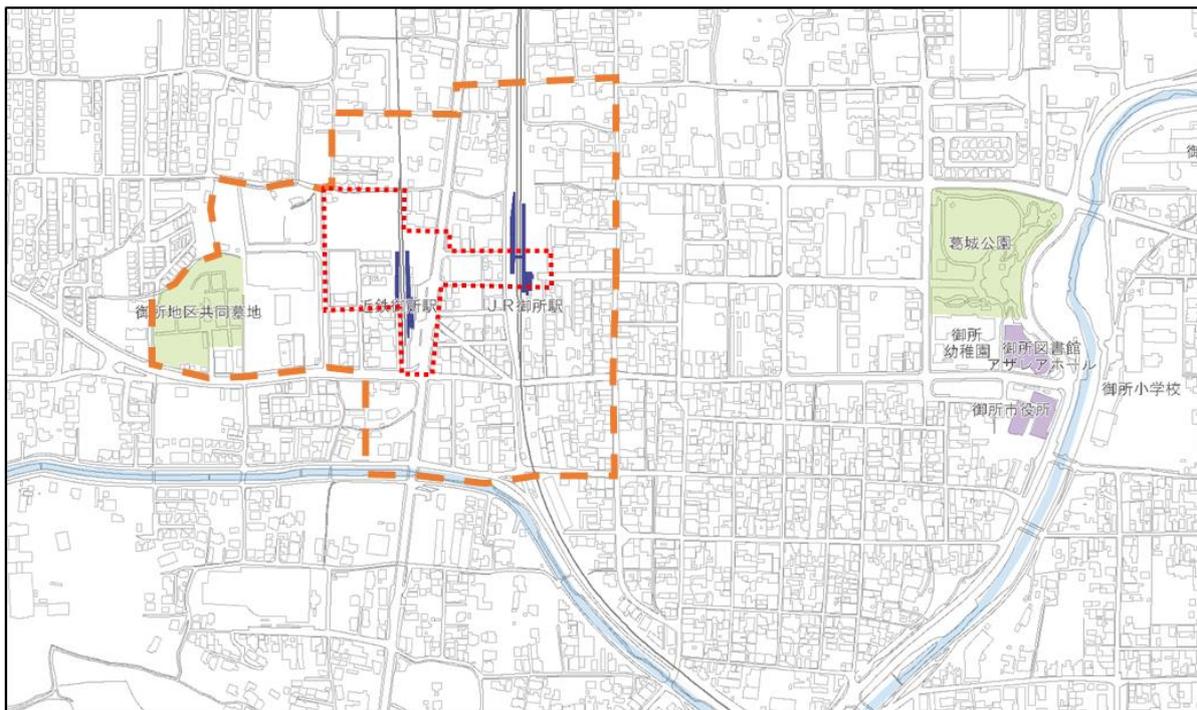
また、地区交通戦略の策定にあたっては、駅周辺地区の核となる近鉄・JR御所駅前広場の整備基本計画と整合を図りながら検討を進めることとします。

1-2 地区交通戦略の概要

「地区交通戦略」は、総合交通戦略のうち、都市の中心部といった「まちなか」や駅・駅前広場と周辺街区（駅まち空間）、居住誘導区域等にエリアを限定した、きめ細やかな街路空間づくりを戦略的に進めるための計画です。すなわち、民間のまちづくり活動と呼应し、人間中心の都市空間の形成やエリアの価値向上を目指すための、「まちなか」等の限定したエリアにおけるまちづくりの方向性と解像度の高い交通施策を位置づけるための計画制度です（国土交通省 都市局「都市・地域総合交通戦略のすすめ～総合交通戦略策定の手引き～」令和4月5月）。

1-3 計画の対象区域

地区交通戦略の対象区域は、平成29年3月策定の御所中心市街地地区まちづくり基本構想における近鉄御所駅・JR御所駅周辺ゾーンをベースに、以下の図のとおり駅周辺地区を設定します。



図：『近鉄・JR御所駅周辺地区交通戦略』と『近鉄・JR御所駅前広場整備基本計画』の対象範囲

1-4 計画の位置づけ

地区交通戦略は、御所市第6次総合計画、御所市都市計画マスタープラン等の上位計画や、交通・まちづくり・観光・環境・福祉等の関連計画との整合・連携を図るとともに、関係機関等が計画的・効率的に施策展開を図っていくための都市交通の指針として活用します。

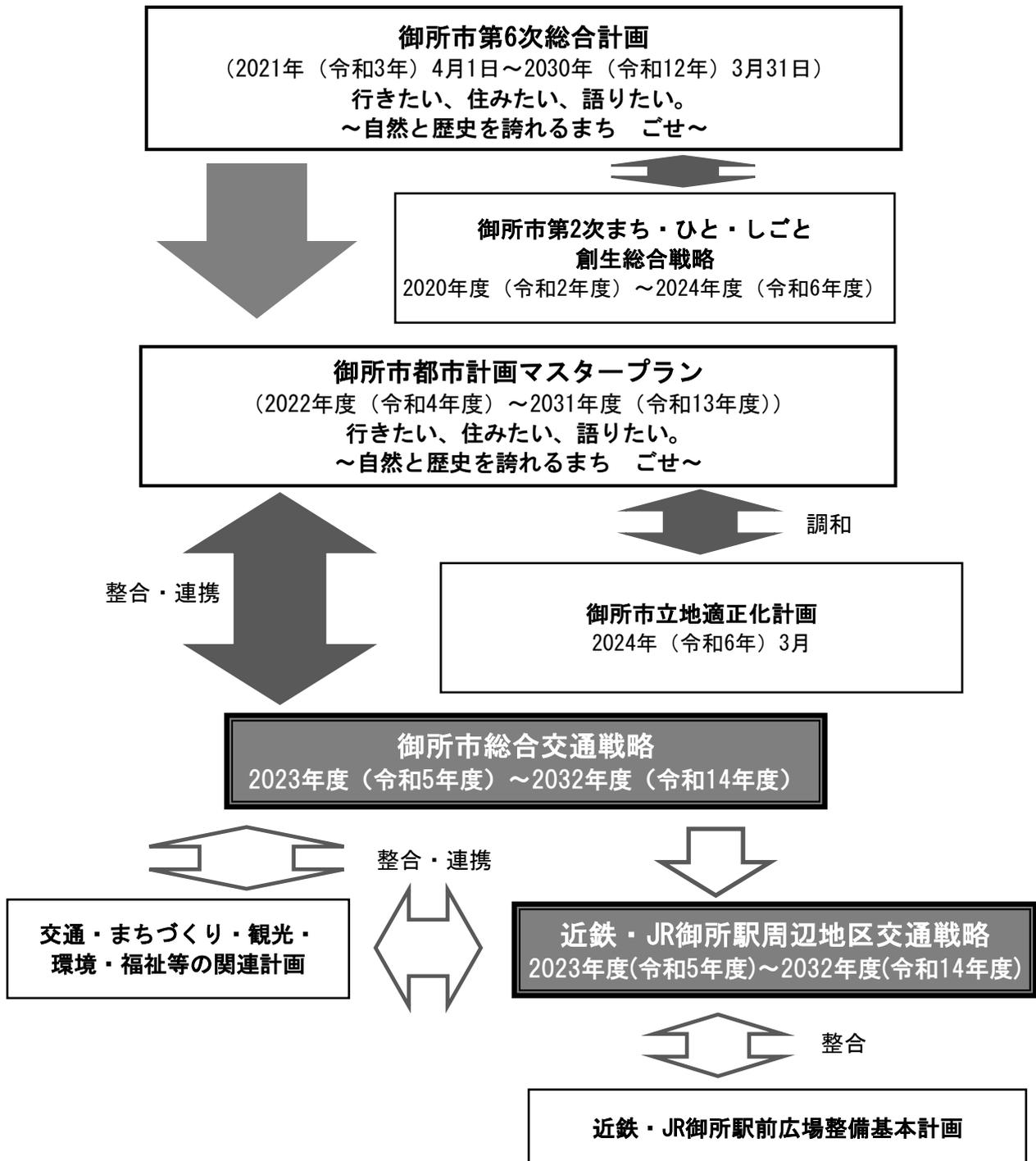


図:計画の位置づけ

1-5 計画の期間

地区交通戦略は、御所市総合交通戦略に合わせ、概ね10年後の2032年度（令和14年度）を計画目標年次とします。2027年度（令和9年度）までを短期、2028年度（令和10年度）以降を中・長期として実施プログラムを検討します。

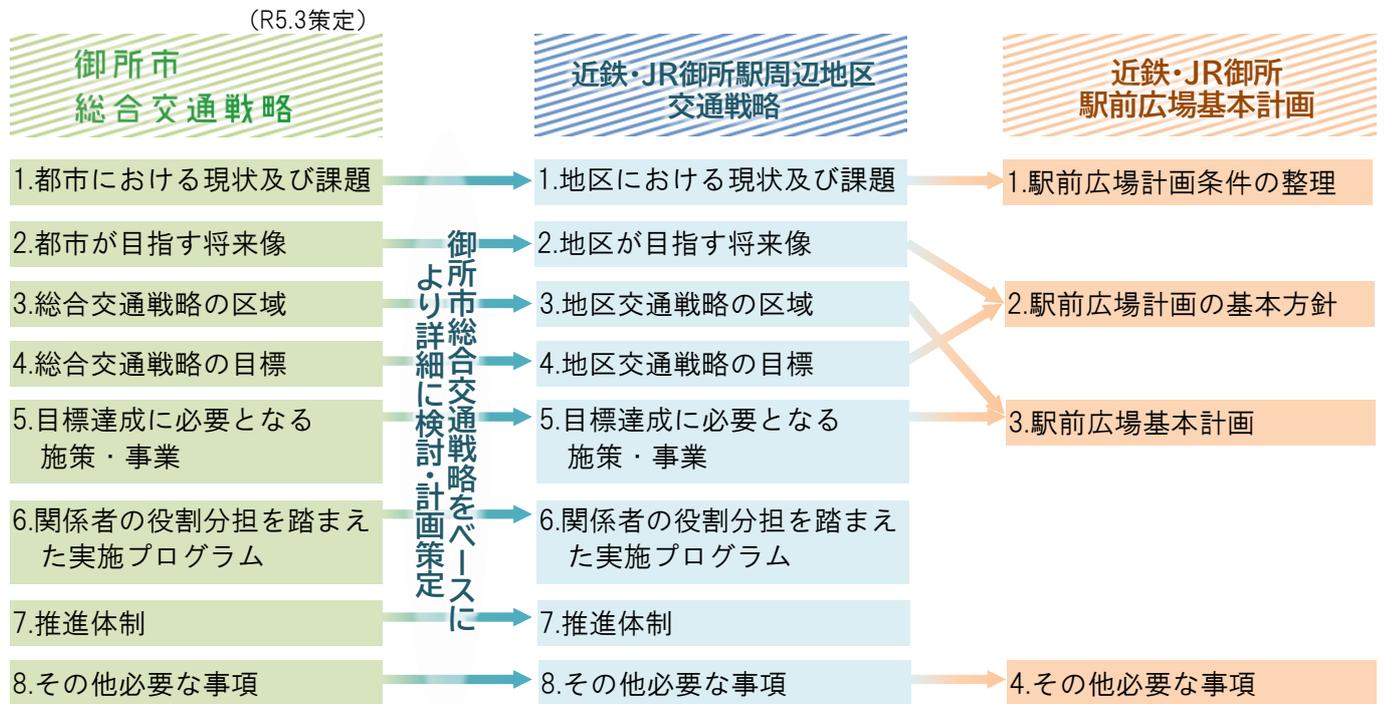
なお、施策の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の中間見直しを行います。



図：計画の期間

1-6 計画の構成（地区交通戦略で定める内容）

国土交通省 都市局「都市・地域総合交通戦略のすすめ～総合交通戦略策定の手引き～」(令和4年5月)では地区交通戦略の範囲として「総合交通戦略の範囲に内包される形で設定することや、総合交通戦略そのものを特定の地区を対象とした地区交通戦略とすることも考えられる」とあり、「御所市総合交通戦略」(令和5年3月)の内容を引き継いだ整理を行い、必要に応じ項目の追加を行い、地区交通戦略を作成します。



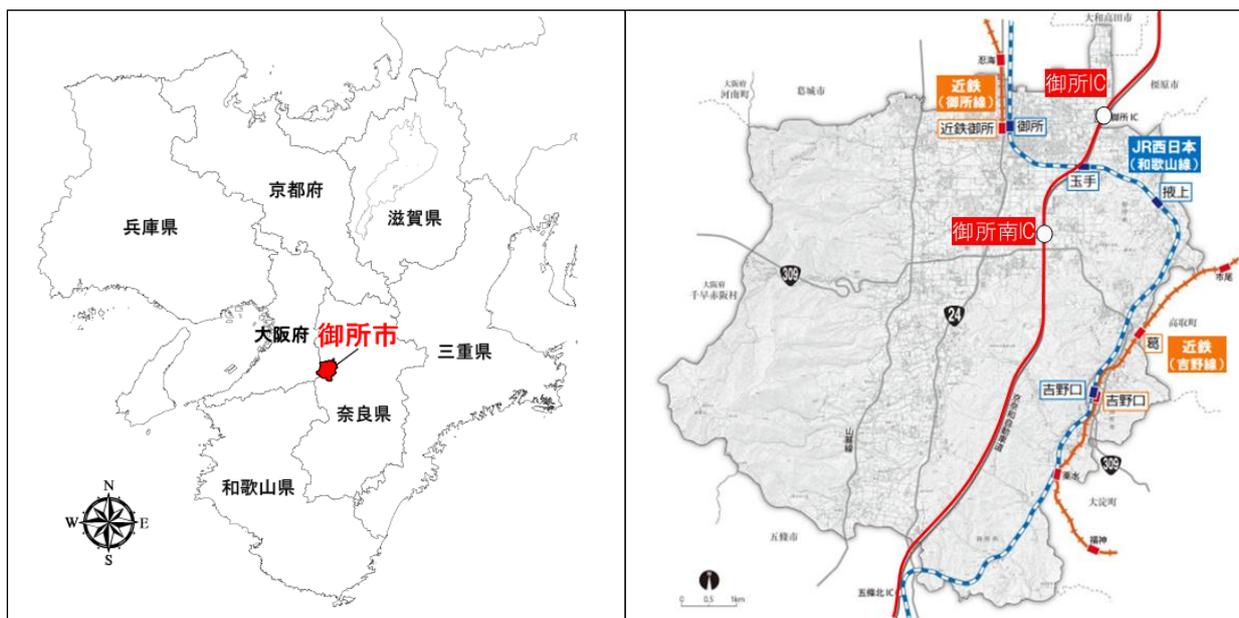
図：総合交通戦略、地区交通戦略、駅前広場基本計画の関係

2 地区における現状及び課題

2-1 御所市の特性

(1) 概況

- ・ 本市は奈良県北西部に位置し、東西9.8km、南北10.6kmの広がりを持ち市域面積60.58km²を有しています。
- ・ 本市は、1958年（昭和33年）3月31日に、御所町を中心に、葛村、葛上村、大正村の4町村が合併して誕生しました。
- ・ 市域の北部から中央部にかけて平野が開け、農地や家屋の多くが集中しています。
- ・ 西部には標高1,000m級の金剛山・葛城山が峰を連ね、南部の竜門山地西端、東南部の巨勢山丘陵地は比較のおだやかな標高150～350mの起伏をなしています。
- ・ 県庁所在都市の奈良市へは北北東に約25km、大阪市中心部へは北西に約30kmの位置にあります。
- ・ 鉄道ではJR西日本（和歌山線）や近鉄（御所線）・近鉄（吉野線）が通っており、道路では京奈和自動車道・国道24号・国道309号などを基軸に道路網が形成されています。
- ・ 京奈和自動車道の開通により京都・和歌山方面へのアクセスにも優れており、御所ICや御所南ICが供用されている広域的な交通条件に恵まれた地域です。



図：位置図

資料：御所市「御所市第6次総合計画」2021年（令和3年）3月、御所市「御所市火葬場基本計画」2020年（令和2年）1月

2-2 人口・世帯数・高齢化率

(1) 人口の推移(将来含む)

- ・本市の人口は1980年(昭和55年)から減少し続けています。2020年(令和2年)の人口は24,096人で、1980年(昭和55年)に比べて13,291人減少(約36%減少)しています。
- ・2045年(令和27年)の推計人口は12,642人で、1980年(昭和55年)の人口に比べて約66%減少すると予測されています。
- ・1980年(昭和55年)を基準とすると、国や奈良県と比べて本市は急速なペースで人口減少が続くと予測されています。
- ・2020年(令和2年)時点の人口分布では、市内北部ほど人口が多く、とくに近鉄・JR御所駅周辺及び東部地域など中心市街地に集中しています。

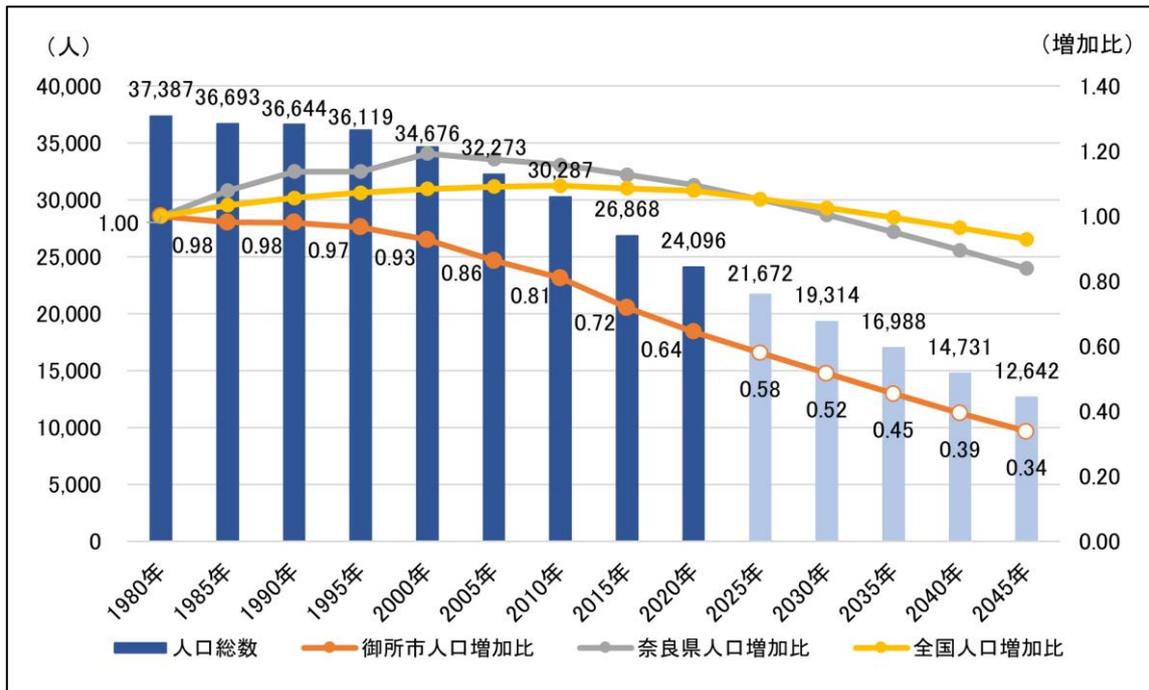
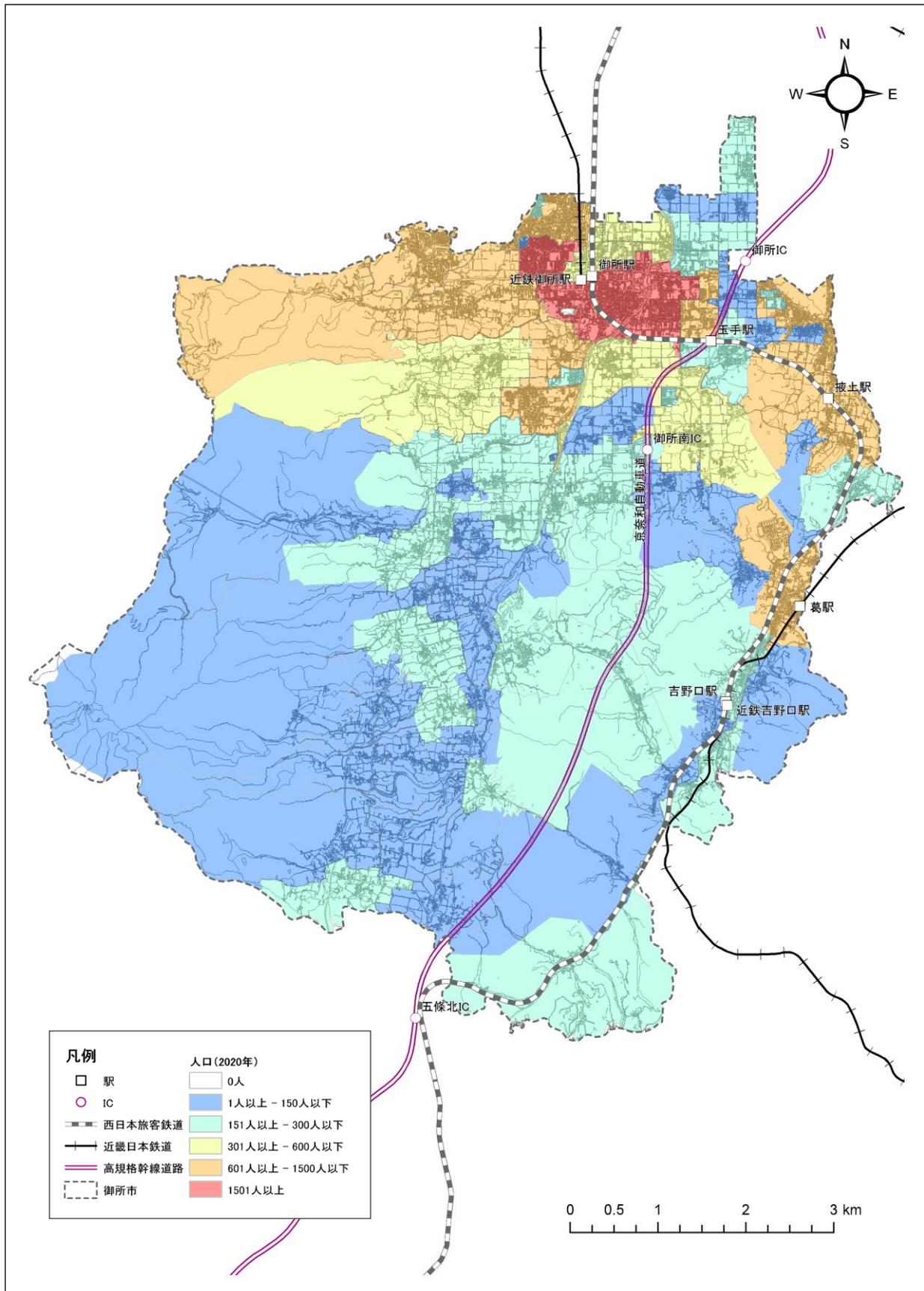


図:人口推移

資料:総務省統計局「各年国勢調査結果」
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」2020年(令和2年)推計

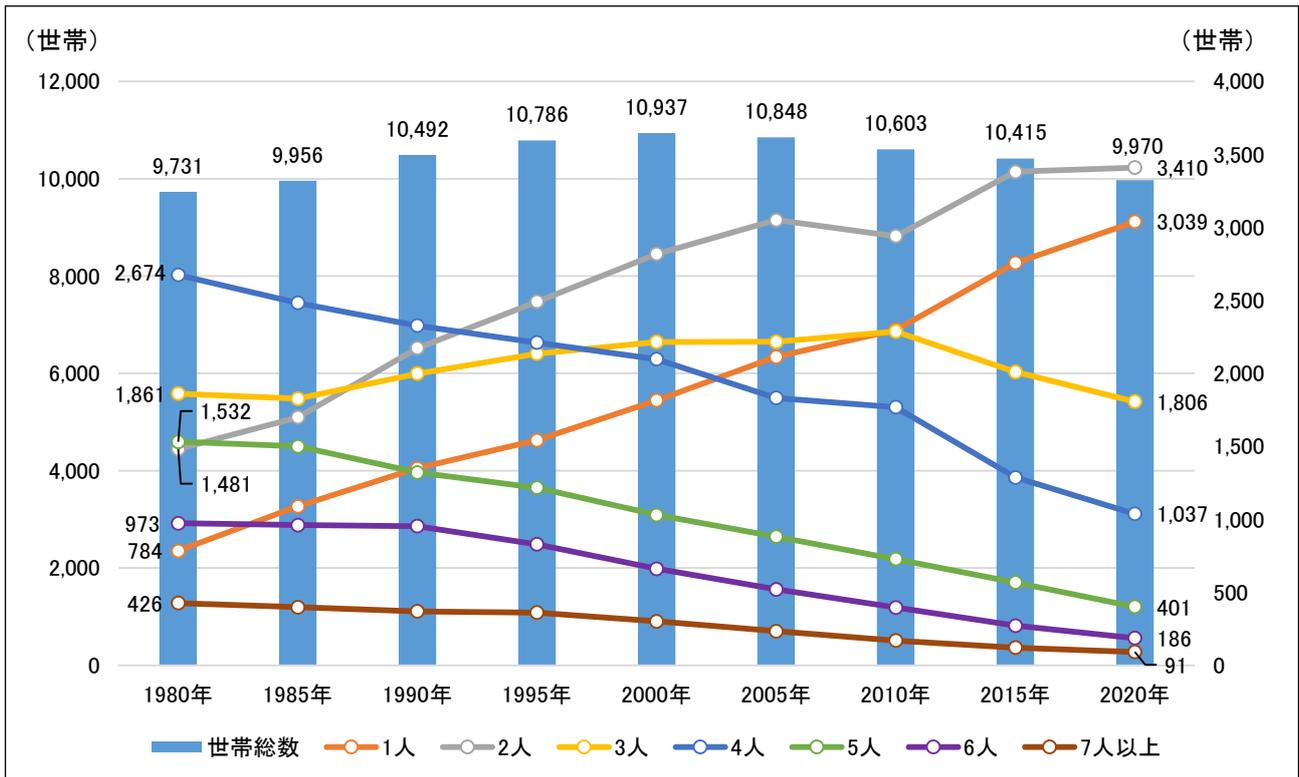


図：人口分布

資料：総務省統計局「2020年(令和2年)国勢調査結果」

(2) 世帯数・世帯人員の推移

- ・ 本市の世帯数は2000年（平成12年）の10,937世帯がピークでしたが、近年は減少傾向にあります。
- ・ 世帯人員は1980年（昭和55年）には4人世帯が2,674世帯と最多で、次いで3人世帯の1,861世帯でしたが、2020年（令和2年）には2人世帯が3,410世帯と最も多く、次いで1人世帯の3,039世帯となっています。平均世帯人員は1980年（昭和55年）に3.8人だったのが、2020年（令和2年）には2.4人となっています。
- ・ 1980年（昭和55年）に比べると、2020年（令和2年）には65歳以上の高齢者単身世帯は大きく増加し、世帯総数の18.3%を占めています。



図：世帯数・世帯人員の推移

資料：総務省統計局「各年国勢調査結果」

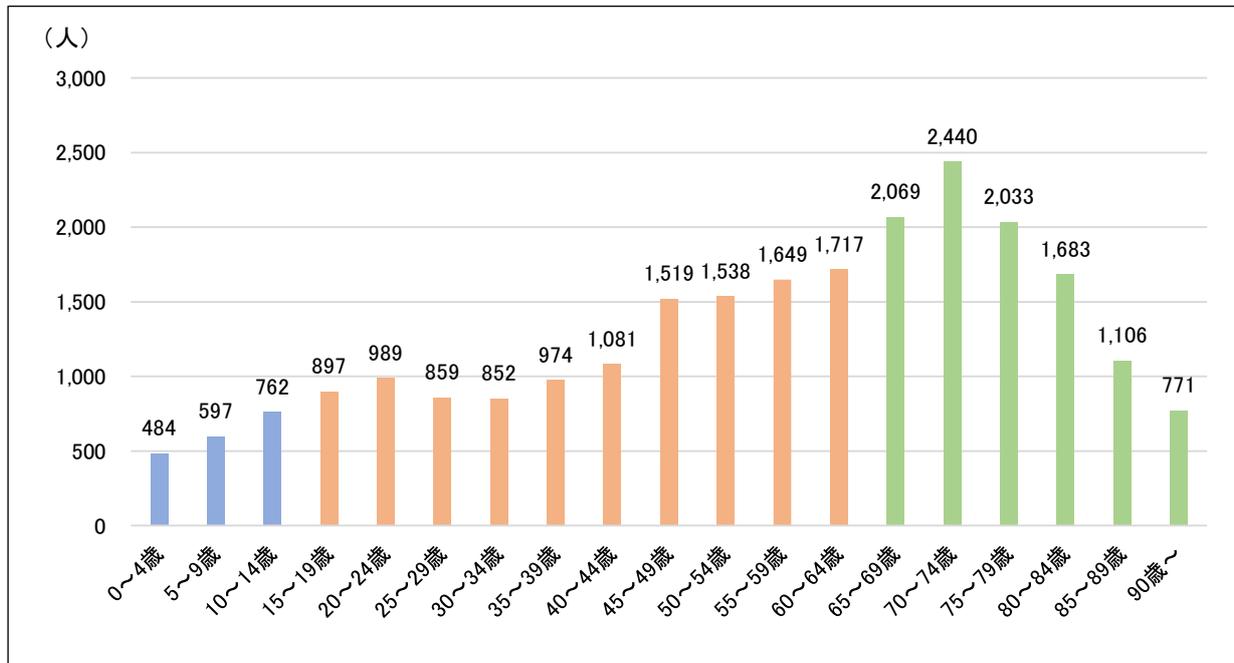
表：世帯人員

	人口 [人]	世帯総数 [世帯]	平均 世帯人員 [人]	2人以下 世帯数 [世帯(%)]	3人以上 世帯数 [世帯(%)]	高齢者 単身世帯 [世帯(%)]
1980年	37,387	9,731	3.8	2,265(23.3)	7,466(76.7)	323(3.3)
2020年	24,096	9,970	2.4	6,449(64.7)	3,521(35.3)	1,823(18.3)

資料：総務省統計局「各年国勢調査結果」

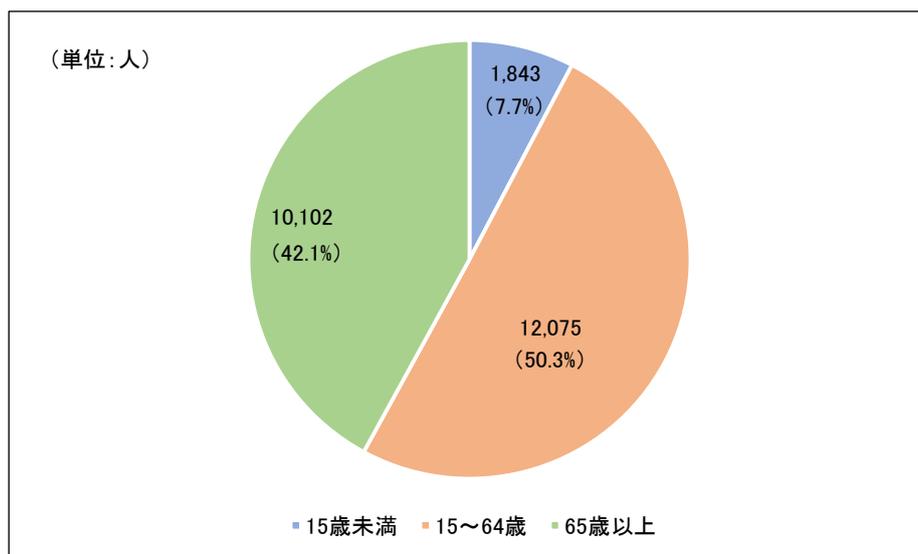
(3) 年齢別人口

- ・ 本市の2020年（令和2年）の年齢別人口は70～74歳が2,440人と最多で、次いで65～69歳の2,069人となっています。
- ・ 2020年（令和2年）の65歳以上の老年人口は10,102人で、高齢化率は42.1%となっています。将来人口推計では、2040年には本市人口の54.7%、市民の半数以上が65歳以上になると予測されています。



図：5歳階級別人口

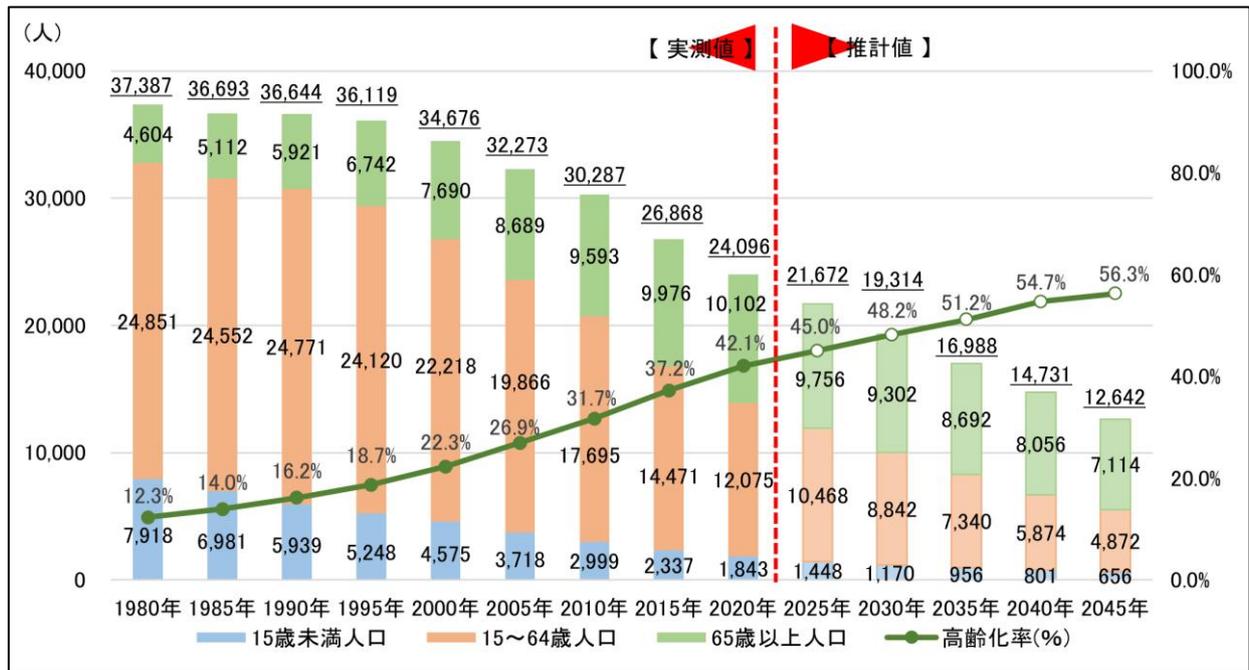
資料：総務省統計局「2020年（令和2年）国勢調査結果」



※ 括弧内の構成比 (%) は年齢不詳人口を除いた総人口に対する割合。
 ※ 小数第2位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%とならない。

図：年齢3区分人口の割合

資料：総務省統計局「2020年（令和2年）国勢調査結果」



※高齢化率は、65歳以上の老年人口÷総人口（年齢不詳人口を除く）

※総人口には、年齢不詳人口が含まれるため、各世代別人口の合計と一致しない場合がある。

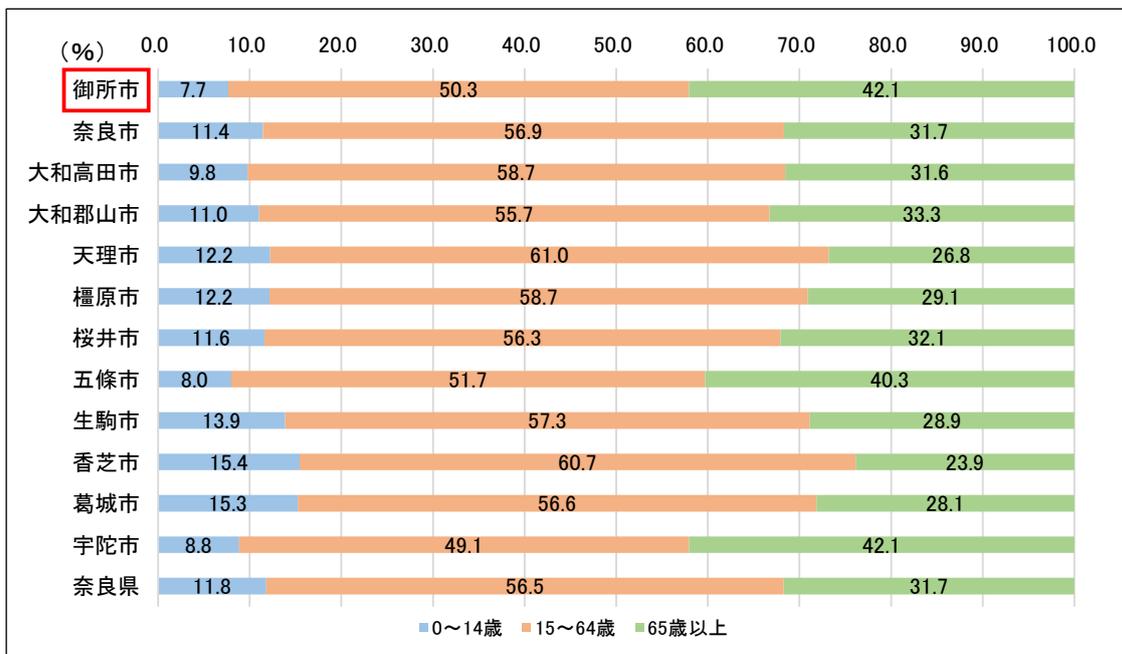
図：年齢3区分別人口と高齢化率の推移

資料：総務省統計局「各年国勢調査結果」

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2020年（令和2年）推計）」

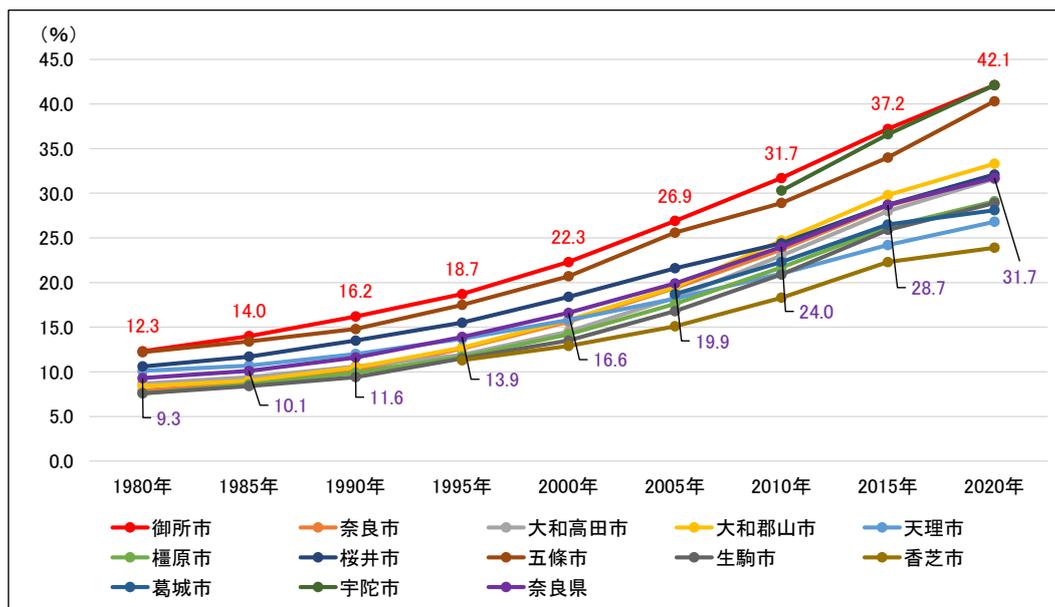
(4) 地域別高齢化率

- ・ 1980年（昭和55年）時点では、本市の高齢化率は奈良県の平均を超えているものの大きな差はありませんが、2000年（平成12年）頃から差が広がっています。2020年（令和2年）における本市の高齢化率は42.1%で、奈良県全体の31.7%よりも10.4ポイント高く、奈良県内12市のなかで宇陀市とともに最も高齢化率が高い地域です。
- ・ 2020年（令和2年）時点で、高齢化率は本市のほぼ全域で30%以上であり、一部地域は60%以上となっています。



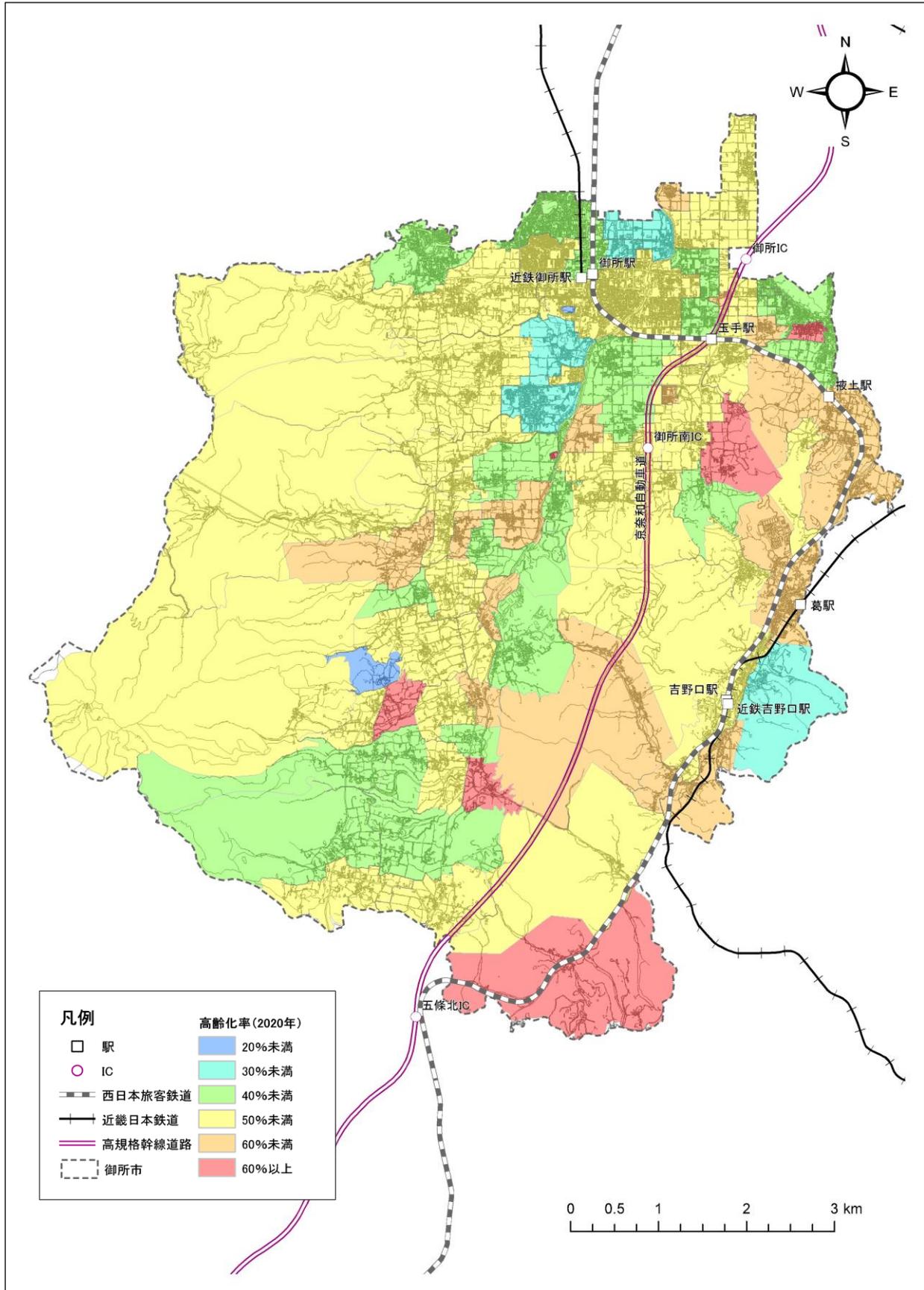
図：奈良県内12市と奈良県全体の年齢3区分別人口割合

資料：総務省統計局「2020年（令和2年）国勢調査結果」



図：高齢化率の推移（1980年～2020年）

資料：総務省統計局「各年国勢調査結果」



図：小地域別高齡化率(2020年)

資料：総務省統計局「2020年(令和2年)国勢調査結果」、国土数値情報

(5) 人口動態

- ・ 2023年（令和5年）時点では、年齢区分20～24歳が転入・転出が多く、社会増減は、35人の減少となっています。また、20代・30代の転出が転入を大きく上回っており、若者人口が流出しています。
- ・ 20～40代半ばの働く世代では転出超過、50代以上は転入超過の傾向があります。
- ・ 出生数は年々減少しています。1985年（昭和60年）以降は、死亡数が出生数を上回る自然減となっています。

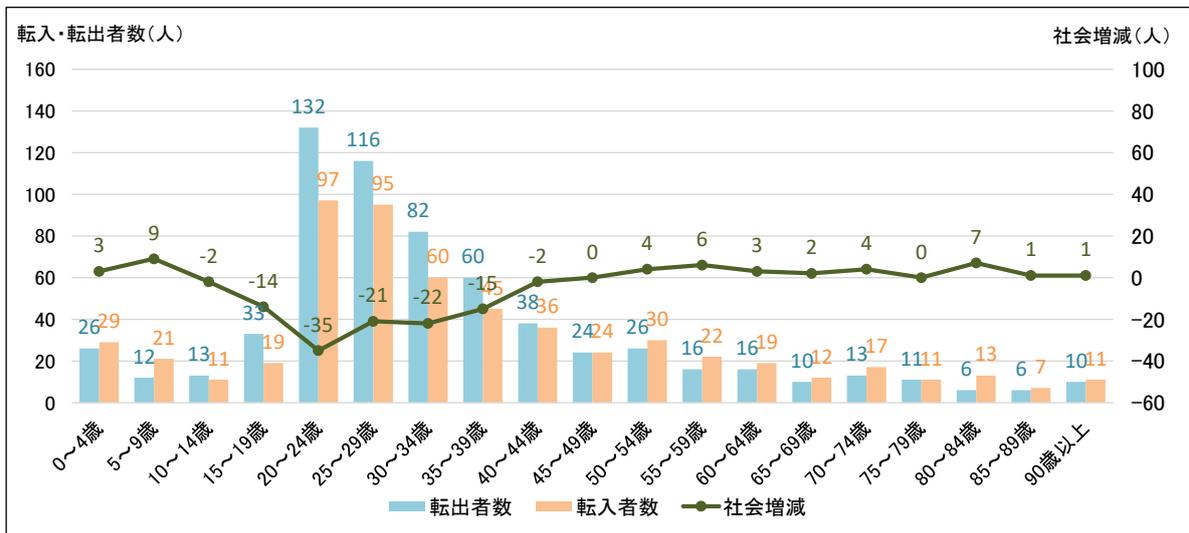


図: 転入・転出者数(2023年)

資料: 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告(2023年(令和5年))」

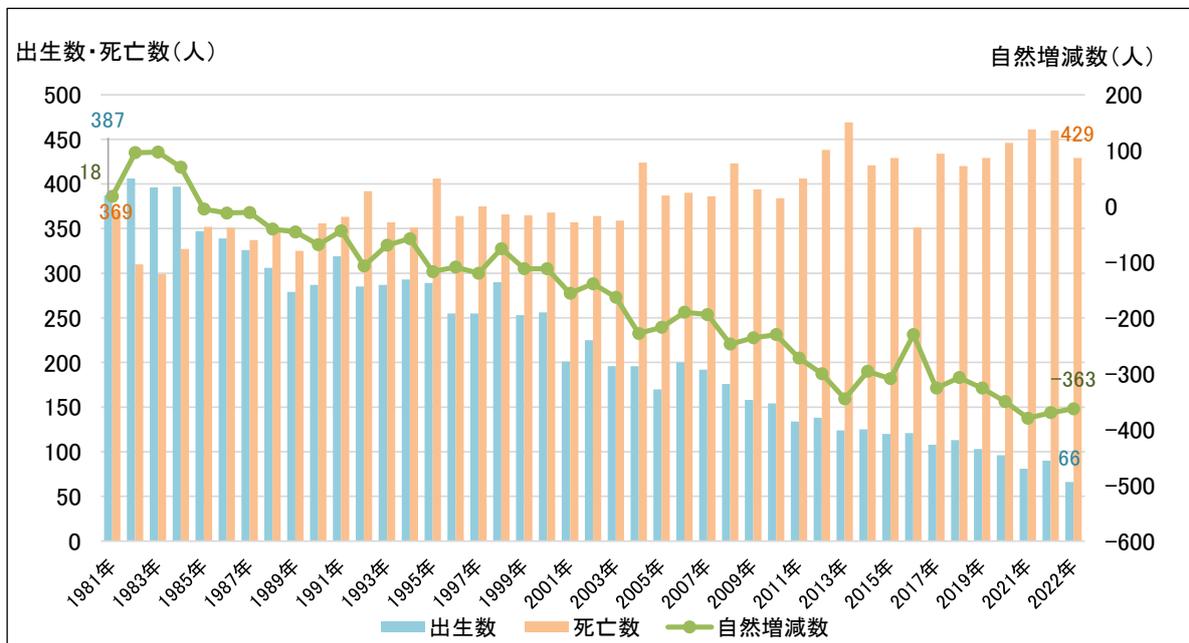


図: 出生・死亡数の推移(1981年～2023年)

資料: 厚生労働省「人口動態総覧」

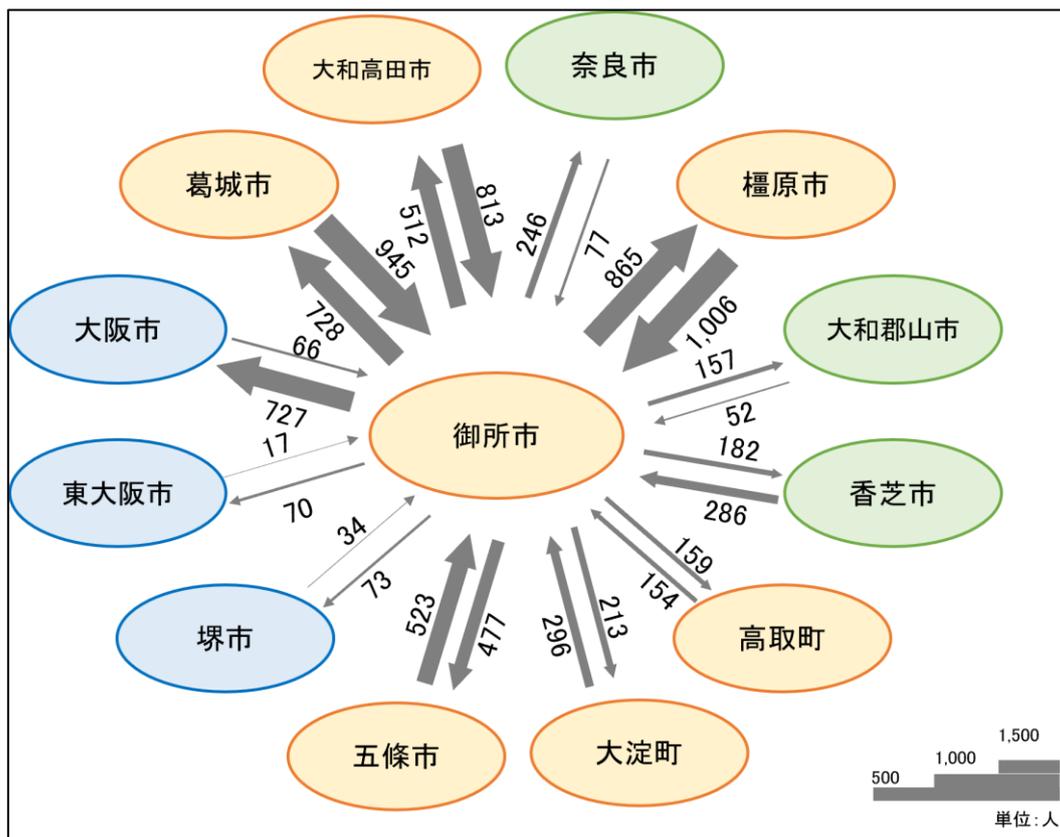
(6) 通勤・通学流動

- ・ 総数で見ると、本市は105人の流出超過となっています。
- ・ 地域別の流出超過量では、大阪市が661人と最多で、次いで大阪府その他の249人、奈良市の169人となっています。
- ・ 地域別の流入超過量では、大和高田市が301人と最多で、次いで葛城市の217人、橿原市の141人となっています。

表:通勤・通学流動の状況(2020年)

	流出			流入			流入-流出 (人)
	総数 (人)	就業者 (人)	通学者 (人)	総数 (人)	就業者 (人)	通学者 (人)	
総数	10,812	9,964	848	10,707	10,008	699	-105
御所市内	4,504	4,345	159	4,504	4,345	159	0
御所市外	5,985	5,328	657	5,714	5,236	478	-271
県内	4,296	3,923	373	5,130	4,685	445	834
隣接市町							
橿原市	865	797	68	1,006	933	73	141
葛城市	728	728	0	945	899	46	217
大和高田市	512	478	34	813	755	58	301
五條市	477	396	81	523	486	37	46
大淀町	213	192	21	296	281	15	83
高取町	159	140	19	154	147	7	-5
奈良市	246	206	40	77	69	8	-169
香芝市	182	170	12	286	252	34	104
大和郡山市	157	139	18	52	35	17	-105
その他県内	757	677	80	978	828	150	221
県外	1,523	1,296	254	584	551	33	-939
大阪府	1,306	1,124	182	304	288	16	-1,002
大阪市	727	672	55	66	55	11	-661
東大阪市	70	46	24	17	16	1	-53
堺市	73	66	7	34	33	1	-39
大阪府その他	436	340	96	187	184	3	-249
その他県外	217	172	72	280	263	17	63
不明	166	109	30	0	0	0	-166
従業地・通学地「不詳」	323	291	32	489	427	62	166

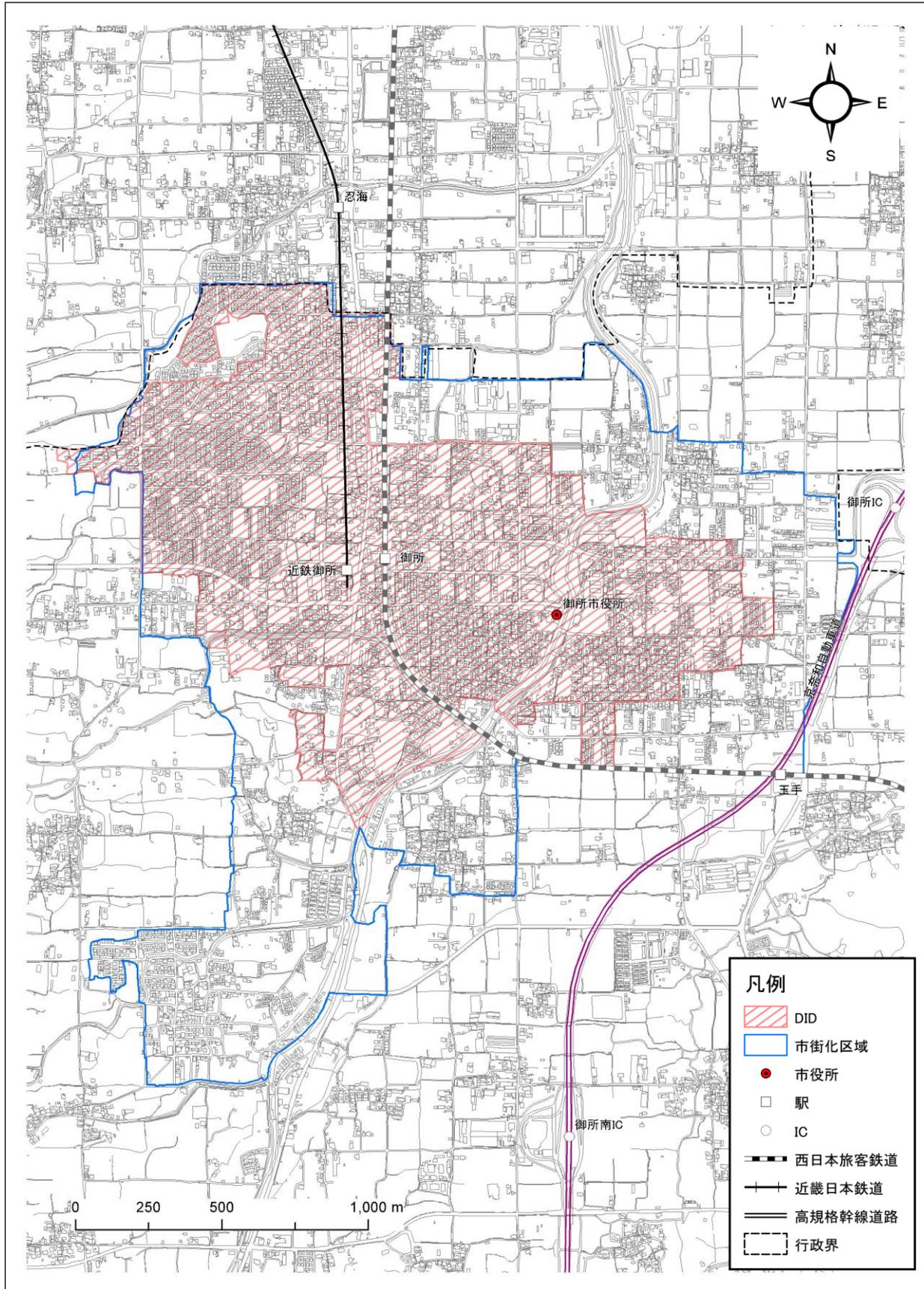
※表中の青数値は流入超過量、赤数値は流出超過量を表す。
資料:総務省統計局「2020年(令和2年)国勢調査結果」



※オレンジ色は御所市に隣接する奈良県の市町、緑色はそれ以外の奈良県の市、青色は大阪府の市を表している。

図: 通勤・通学流動図

資料: 総務省統計局「2020年(令和2年)国勢調査結果」



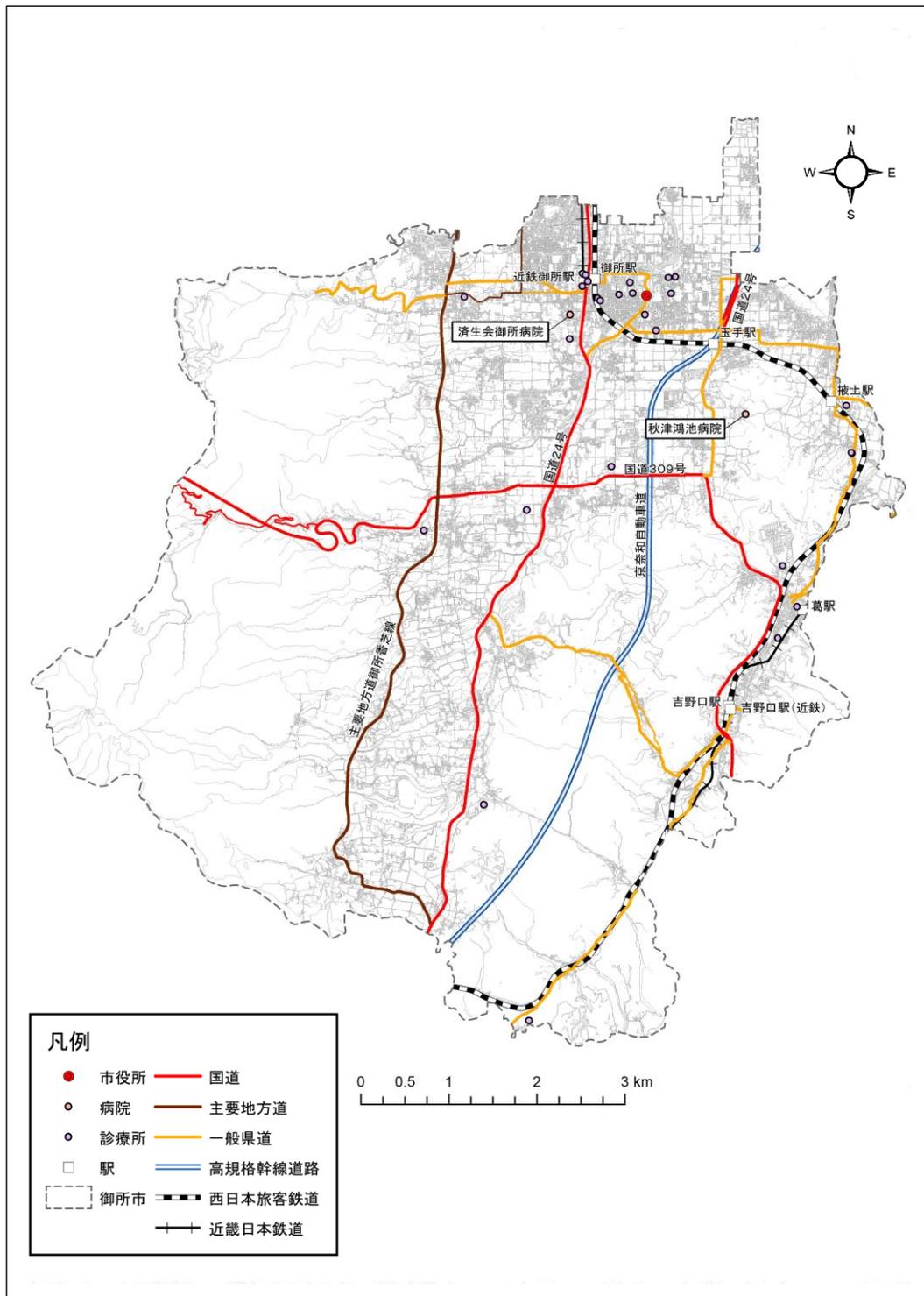
図：DID拡大図(2020年)

資料：総務省統計局「2020年(令和2年)国勢調査結果」
 総務省統計局「わが国の人口集中地区」

2-3 施設分布状況

(1) 医療施設

- ・ 本市は2021年（令和3年）時点で病院が2箇所、診療所が26箇所あり、その多くが北部地域に立地しています。
- ・ 二次救急指定病院は1箇所あります（済生会御所病院）。

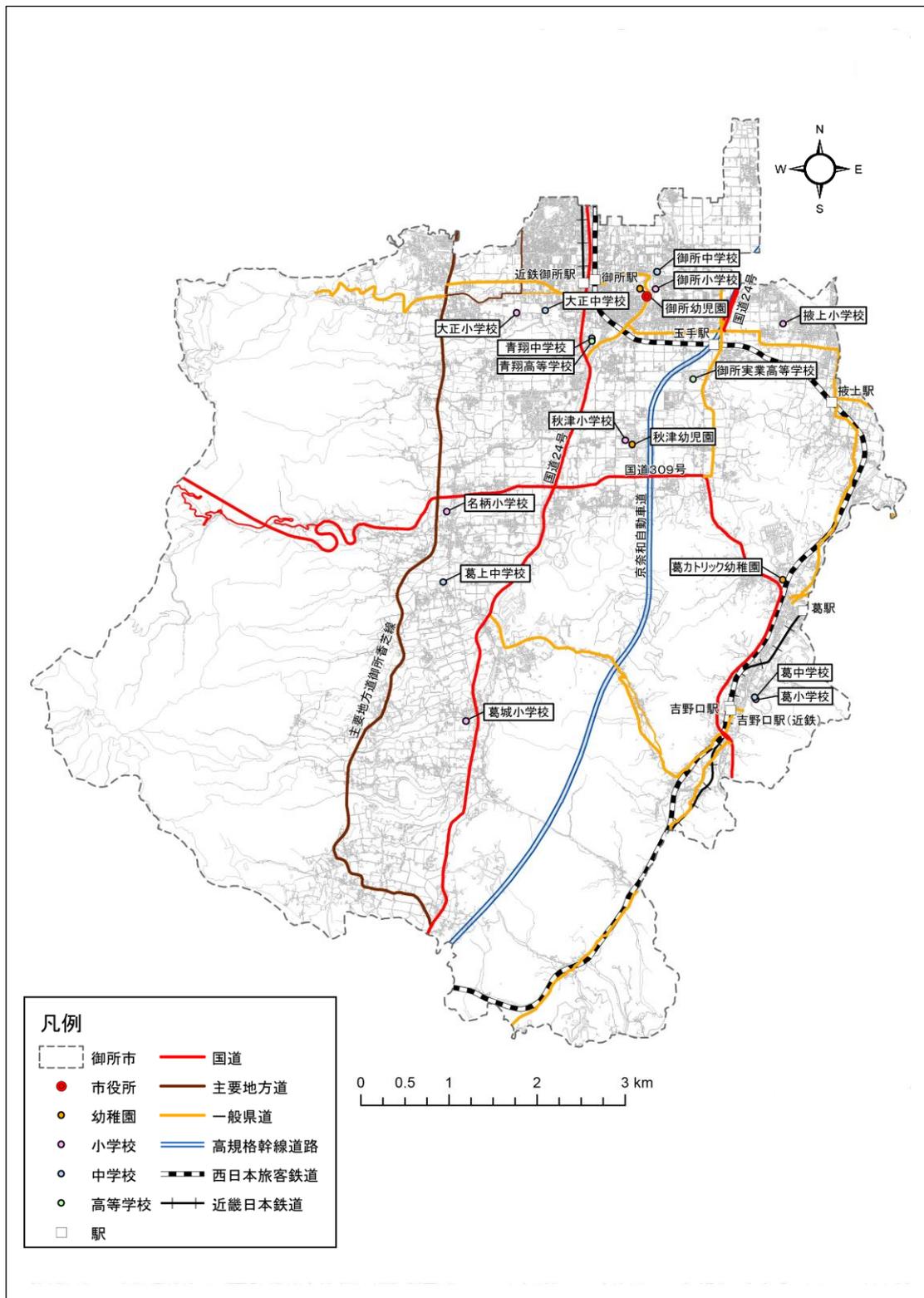


図：医療施設の分布状況

資料：国土交通省「国土数値情報（医療機関データ）」

(2) 教育施設

- ・ 本市には2024年（令和6年）時点で幼稚園は3箇所あり、主に北部地域に立地しています。
- ・ 小学校は7校、中学校は5校、高等学校が2校あります。

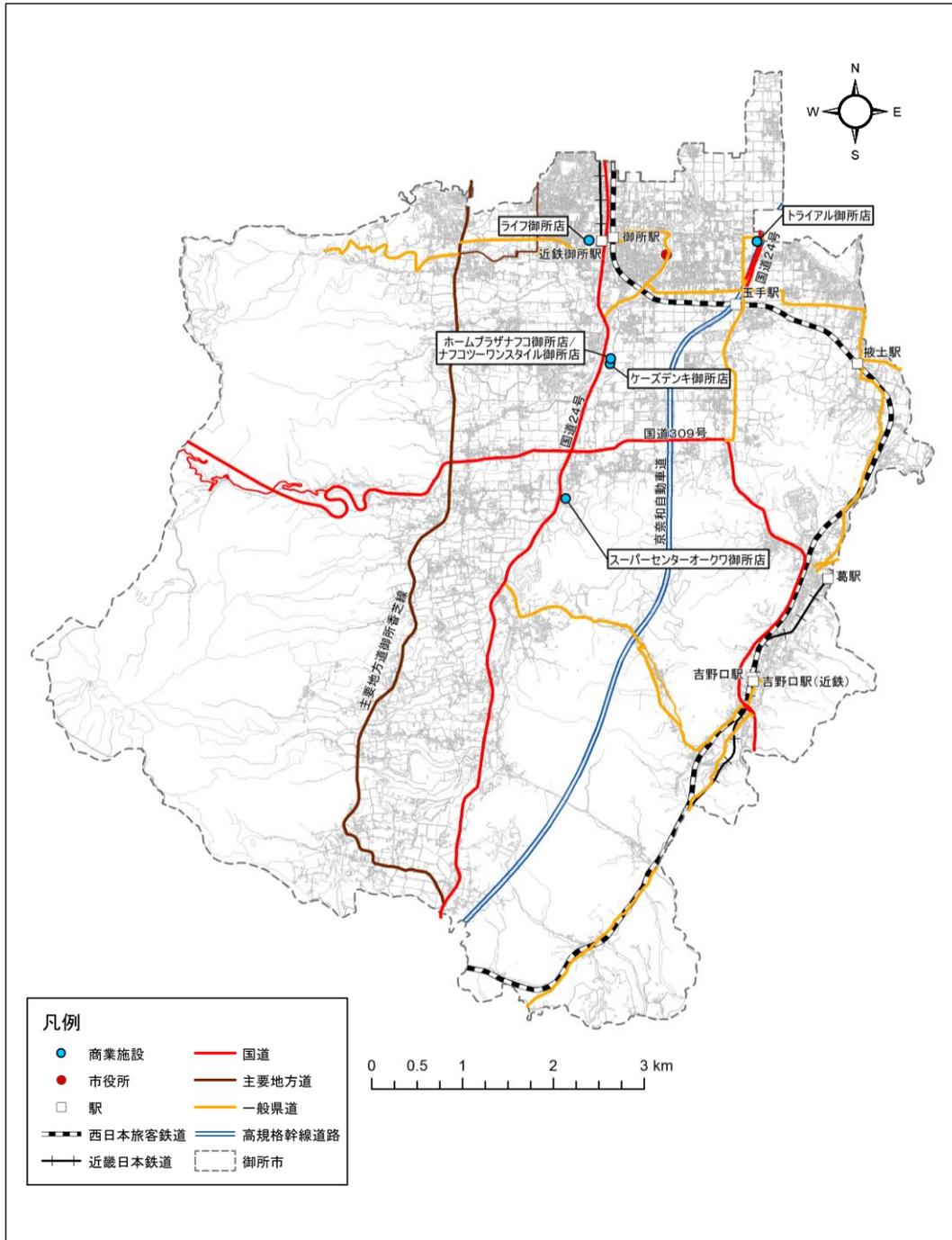


図：教育施設の分布状況

資料：御所市HP、奈良県HP

(3) 商業施設

- ・ 本市には2024年（令和6年）時点で大型商業施設とショッピングセンターが5店舗あり、北部に集中しています。
- ・ 近鉄御所駅の近隣のほか、主に国道24号沿いに立地しています。



※大型商業施設とは、「店舗面積が1,000m²を超えるもの」を指す。(奈良県HP)

図：商業施設の分布状況

資料：大規模小売店舗立地法届出状況(奈良県HP)
日本ショッピングセンター協会HP

(4) 文化施設

- ・ 本市には2024年(令和6年)時点で博物館として水平社博物館があり、市立図書館が1箇所あります。
- ・ 体育施設は5箇所あります。

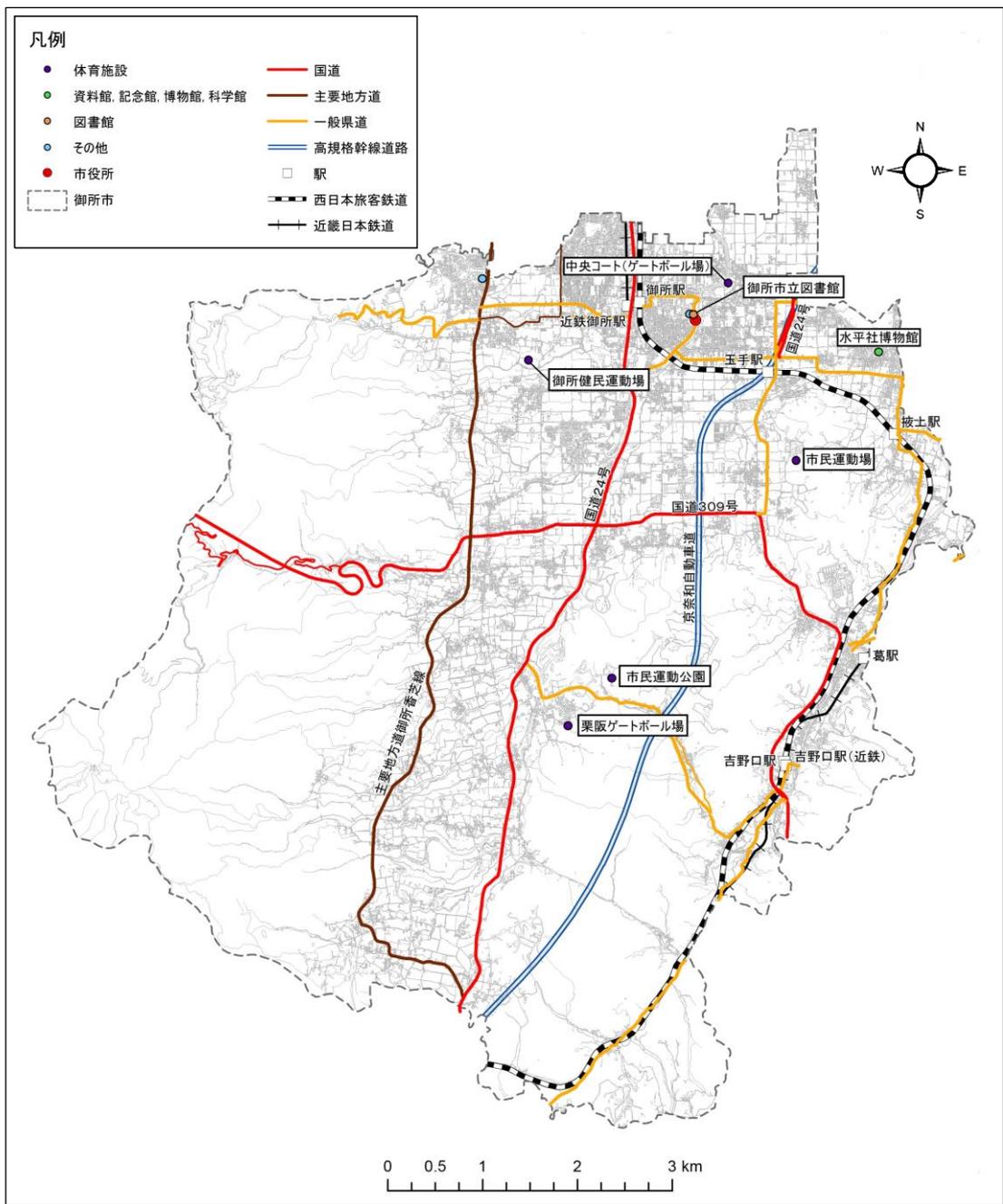
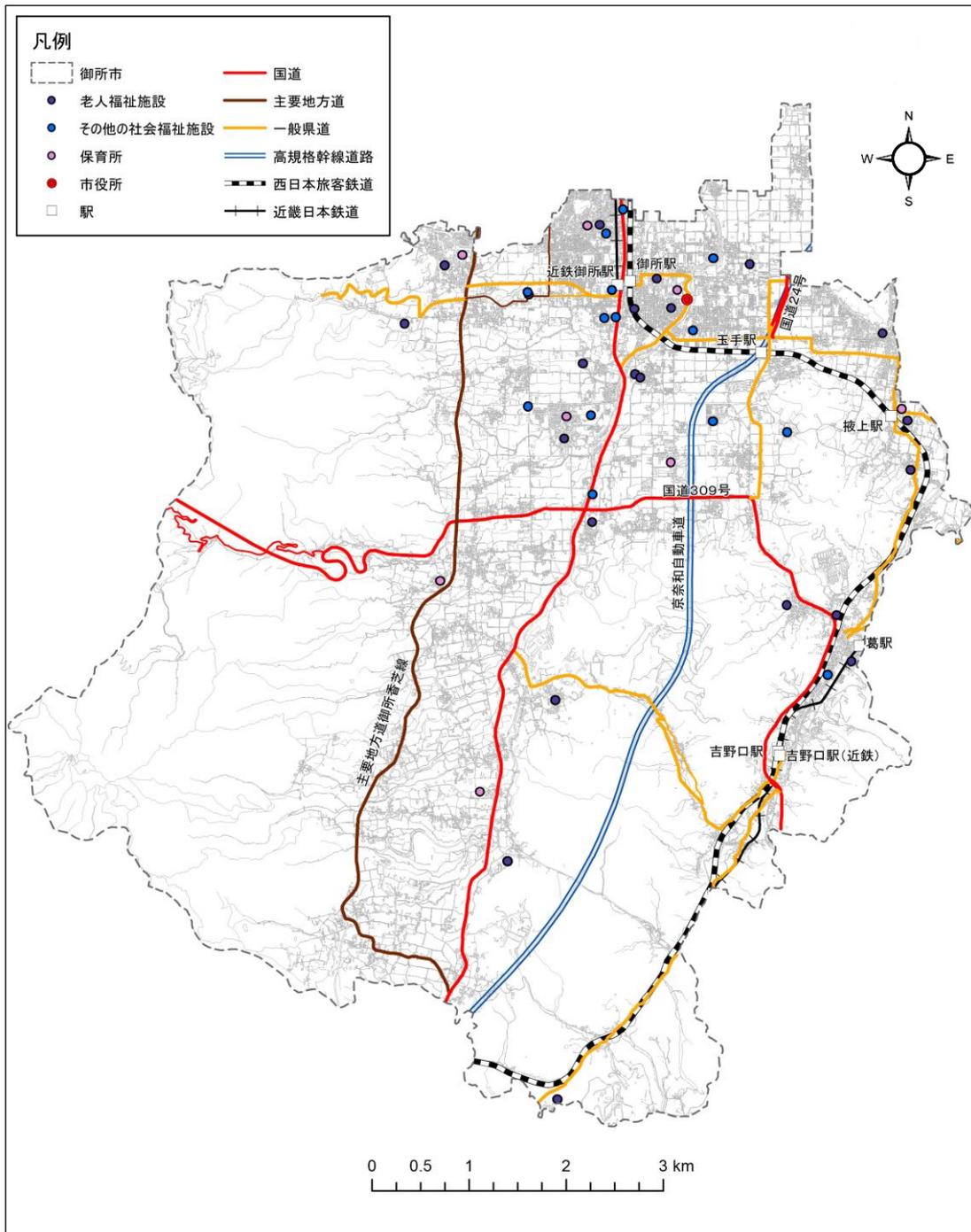


図:文化施設の分布状況

資料:御所市HP

(5) 社会福祉施設

・本市では、2024年（令和6年）時点で社会福祉施設の多くは北部地域に立地しています。



図：社会福祉施設の分布状況

資料：国土交通省「国土数値情報（福祉施設データ）」
医療福祉機構「障害福祉サービス等情報検索」

